

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期） の取組状況について



霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅰ 訪れたいまち

主な取組

Ⅰ－1 I・J・U “移住天国霧島”魅力倍増計画

- 本市の交流人口の拡大、地域経済活性化を図るため、メディアキャラバンを実施
- 霧島市の魅力を再認識し、愛着度を高めるための市民参加型の取組であり、「褒め合うまちへ」を合言葉に実施する「キシマイスター」事業の定着化
- 市制施行日である11月7日（語呂合わせで「イイなの日」）に小・中学校、高校生、協力店舗と協働でイベントを開催
- 移住者への支援制度を令和2年度から拡充し、家賃補助の対象物件（民間一戸建て住宅）に公営住宅や民間集合住宅を追加
- コロナ禍で移住体験研修を中止したため、地元企業と連携しオンライン移住イベントを実施

Ⅰ－2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

- 市観光協会や関係団体と連携し、インターネットやメディア等で効果的な情報発信を実施
- 本市への宿泊を促すキャンペーンや修学旅行への助成事業を実施し、新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光需要の喚起等を図るとともに、霧島市に宿泊し魅力を知ってもらうことで、認知度の向上を図るなど、次年度以降の旅行先として選定されるよう取り組んだ。
 - いざ霧島！3万人キャンペーン（R2.7/1～8/5）
 - カムバックtoいざ霧島！キャンペーン（R2.9/14～R3.9/30）
 - スクールトリップin霧島！40,000人キャンペーン（R2.7/1～R4.2/28）

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－1 結婚・出産・子育て支援の充実

- 子育て中の方が利用しやすい施設等の紹介について広報誌での連載を開始
- コロナ禍で妊娠・出産を経た子育て世帯を支援するため10万円分の出産祝商品券を支給
- 国分ハイテク展望台を天候に関係なく遊べる児童遊園施設として機能させるため、屋内外遊具の設置や幼児利用を想定した建物の機能整備を行った。（R3.7.16開館）
- 特定不妊治療費の助成については、法改正に基づき、所得制限の撤廃等を行い助成対象者の拡充を行った。また、産後の支援を強化するため、産後2週間産婦健康診査事業を開始
- 多様化・複雑化する福祉ニーズや複合的な課題を抱える市民の相談に対応する包括的な相談支援体制を構築するため、「こども・暮らし相談センター」を新設

Ⅱ－2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

- 教員の指導スキルの向上を図るとともに、ALTや外国語活動等支援員、専科加配教員を効果的に活用し、小学校3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科の授業に取り組んだ。
- 地元企業の説明会、地元企業代表者による講話など「中学生の挑戦！『霧島しごと維新』事業」、ALTや留学生と交流を深める「クリスマスグローバルアクティビティ」の実施
- GIGAスクール構想の端末整備を加速し、小学3～中学3年生までの全児童生徒に学習ドリルアプリを搭載したタブレット端末を整備

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

- 「地域まちづくり計画」の見直し支援や地域活性化補助事業、地域振興補助事業の実施
- プッシュ型かつ多言語で迅速・確実に災害情報等を伝達できるよう、災害対応アプリ「きりしま防災・行政ナビ」を開発・導入
- 医師会医療センターが新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、高度専門医療や救急医療等を提供できるよう、PCR検査機器・超音波診断装置等を整備
- 霧島市基幹相談支援センターを設置（R1.12）し、専門職が障害のある方やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、相談支援事業所や関係機関と連携して支援

Ⅱ－4 既存ストック活用による「小さな拠点」等の形成

- 民間主導・公民連携による「あるものを生かす」まちづくりへの転換を図るため、「霧島リノベーションまちづくり戦略会議」を開催し、推進ガイドラインを策定するとともに、実行協議会を設立し創業支援と一体となった推進体制を構築した。
- 空き家バンク制度、空き店舗等ストックバンク制度を展開し、利用希望者とのマッチングを支援し、利活用の促進を図っている。
- 霧島総合支所の事務所機能を1階に集約したことから、空きスペースの有効活用を検討
- 低利用・未利用の公有財産の利活用を推進するため、「霧島市公有財産利活用ガイドライン」を策定

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅱ 住み続けたいまち

主な取組

Ⅱ－5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上及び地域間連携の推進

- 交通空白・不便地域の市民の交通移動手段の確保のため、コミュニティバス（ふれあいバス・デマンド交通）を運行するとともに、広域幹線系統の「JR・路線バス」と枝線の「コミュニティバス」の拠点結節により交通機関相互の連携を図っている。
- 隼人駅のバリアフリー化整備工事が完了し、総工費の1/6の補助を実施
- 環霧島会議（年2回）及び錦江湾奥会議（年1回）を近隣市町等と持ち回りで開催し、課題解決に資する広域連携による取組を推進

Ⅱ－6 環境と調和したまちづくりの推進

- 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を更に促進するため、令和2年度から宅内配管に要する費用への補助を追加
- 環境美化モデル地区に4地区自治公民館を指定し、環境美化（河川環境保全）推進員を70名委嘱するとともに、河川景観アダプト制度を周知により、10団体が新規登録
- 交流及びふれあいの場として、令和2年7月から有下公園の供用を開始、令和3年の供用開始に向けて麓2号公園及び麓4号公園を整備
- 霧島市光ブロードバンド整備計画に基づき第2期エリア（牧園地区万膳・安楽地域、横川地区山ヶ野地域、隼人地区嘉例川地域）の整備を行い、サービス提供を開始（R3.3.1）

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅲ 働きたいまち

主な取組

Ⅲ－1 「強み」を活かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現

- 関係機関との連携による企業情報の収集、用地取得や設備投資に対する補助制度の実施やオンラインを活用した優遇制度のPRなど、企業誘致活動を推進
- 商工会議所又は商工会会員である商工業者が借入れた制度資金の利子補給を実施
- 中小零細企業の販売促進・販路拡大等の取組に対し、広報経費の一部を補助
- 創業支援センターでの窓口相談に加え、鹿児島よろず支援拠点と連携して定期相談会を開催し、新たな事業に取り組む事業者や創業予定者に対する伴走型の支援を実施
- 商工会議所・商工会と連携して、創業セミナーの開催や企業支援事業（利子補給・広報費補助）を実施するなど、創業しやすい環境を整備
- かごしま産業支援センターと連携し、事業承継個別相談会を実施

Ⅲ－2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造（次ページにつづく）

- 関係機関との連携による新規就農相談への対応や各種補助事業・制度資金の導入による経営改善支援の実施
- 産学官連携で組織する「霧島ガストロノミー推進協議会」において、地域ブランドを認定する「ゲンセン霧島」認定制度を実施。令和2年度までに59の産品や活動が認定されている。

霧島市ふるさと創生総合戦略（第2期）の取組状況

基本目標Ⅲ 働きたいまち

主な取組

Ⅲ－２ 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造（前ページのつづき）

- 「ゲンセン霧島」やふるさと納税返礼品による霧島産物等のPRを実施
- 新型コロナウイルスの感染症対策を十分に行った上で、関係機関と一体となって「霧島市農工商連携がんばろう市」を開催（R2.11）

Ⅲ－３ 女性・若者・高齢者と市内企業を繋ぐ就職マッチング

- 教育委員会・高校・大学・企業等と連携し、市内企業へのインターンシップを支援するとともに、誘致企業のインターンシップの受入情報を教育機関へ提供
- 仕事と子育て・介護等の両立を図るため、関係機関と情報交換を行うなど連携に努めるとともに、今後、企業や市民に対して意識調査を行い実態把握を進める。
- 企業の求人と求職者のマッチングを図るため、ハローワーク国分等と連携し、雇用確保・就労支援に取り組むとともに、就労意欲のある方への職業訓練や再就職支援に努めている。